

# ここ 県大での学びに境界はない。

真に役立つ学びとは何だろう。

この境界なき学び舎で、  
自らの手で、自らの足で、  
学んでいく。

県大での体験のすべてが、  
未来を切り拓く力になる。  
真に役立つ学びとは、  
そういうものだ。

さあ、探究心が導く  
無限のフィールドへ。

# わたしの学びに限界はない。

## Contents

P.04 沿革/理事長・学長メッセージ  
P.06 Various Fields  
P.08 Academic Fields  
P.10 学部・学科INDEX

### 環境科学部

P.12 環境生態学科  
P.16 環境社会システム学科  
P.20 環境建築デザイン学科  
P.24 生物資源管理学科

### 工学部

P.28 材料化学科  
P.32 機械システム工学科  
P.36 電子システム工学科

### 人間文化学部

P.40 地域文化学科  
P.44 生活デザイン学科  
P.48 生活栄養学科  
P.52 人間関係学科  
P.56 国際コミュニケーション学科

### 人間看護学部

P.60 人間看護学科

P.64 My Infinite Field  
(学生・卒業生インタビュー)

P.66 近江楽土(地域学)  
副専攻

P.68 近江楽座

P.70 国際交流・留学情報

P.72 キャリア教育・キャリアサポート

P.74 大学院

P.75 キャンパスライフ

P.76 キャンパスマップ

P.78 施設紹介

P.80 数字で見る県大

P.82 県大生の“リアル”

P.84 クラブ&サークル

P.86 学費・学生サポート/入試情報



# キャンパスは琵琶湖。 テキストは人間。

## Message 理事長・学長メッセージ

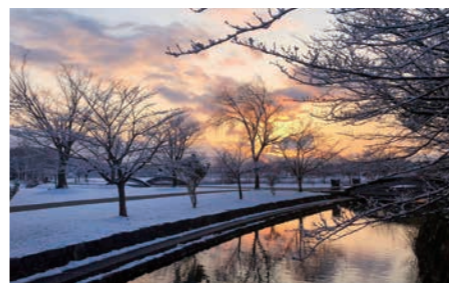
### 持続可能な社会づくりに求められる 「専門性」と「思いやりの心」を育む

滋賀県立大学は、「キャンパスは琵琶湖。テキストは人間。」をモットーに、「地域に根ざし、地域に学び、地域に貢献する」大学を目指してきました。そして、多くの卒業生を社会へ送り出してきました。琵琶湖を擁する滋賀の豊かな自然や、歴史・文化に育まれた環境は、持続可能な社会づくりを学ぶ絶好の場です。本学では、地域に飛び出して学ぶ機会が豊富にあり、実践的な学びを通じて、“地”に足のついた「専門性」と、社会づくりの原点となる「思いやりの心」を育むことができます。本学での学びを生かし、持続可能な社会の担い手として成長してください。



滋賀県立大学 理事長・学長  
井手 慎司

四季折々の姿を見せる、自然豊かなキャンパス。  
学びのフィールドは、教室を飛び越えて  
どこまでも続いている。



## History 沿革

昭和25年(1950年) 4月 滋賀県立短期大学開学(工業科、学芸科)  
滋賀県立農業短期大学開学(農業科)  
昭和31年(1956年) 4月 滋賀県立短期大学組織改編(工業部、農業部、家政部)  
昭和33年(1958年) 3月 滋賀県立農業短期大学廃止  
昭和46年(1971年) 4月 看護部設置  
平成 4年(1992年) 9月 滋賀県立大学基本構想策定  
平成 7年(1995年) 4月 滋賀県立大学開学  
平成 8年(1996年) 3月 滋賀県立短期大学工業・農業・家政部各科の閉科  
平成 8年(1996年) 4月 滋賀県立大学看護短期大学部(併設短期大学)開学  
平成11年(1999年) 4月 大学院修士課程開設  
(環境科学研究科、工学研究科、人間文化科学研究科)  
大学院博士課程開設  
(環境科学研究科、工学研究科、人間文化科学研究科)  
平成13年(2001年) 4月 人間看護学部開設  
平成15年(2003年) 4月 滋賀県立大学看護短期大学部(併設短期大学)閉学  
平成17年(2005年) 3月 公立大学法人滋賀県立大学設立  
平成18年(2006年) 4月

平成19年(2007年) 4月 大学院人間看護学研究科修士課程開設  
平成20年(2008年) 4月 工学部に電子システム工学科を設置  
環境科学部、人間文化学部の学科を再編  
平成21年(2009年) 4月 大学院工学研究科博士後期課程を再編  
先端工学専攻開設  
平成24年(2012年) 4月 人間文化学部に国際コミュニケーション学科を設置  
大学院工学研究科に電子システム工学専攻  
(博士前期課程)を設置  
令和7年(2025年) 人間看護学研究科博士後期課程を設置



# Various Fields

分野を飛び越え、地域を飛び越え、交錯する学び。  
多様なフィールドが広がるこの学び舎で、どんな世界が私を待っているのだろう。

experience **体験する**

近江楽士  
(地域学)  
副専攻  
P.66

地域との学びを**深める**  
県大で身につける  
「ネットワーク力」「起業力」

滋賀から  
**世界へ**

異国の地で知る、  
新しい自分  
現地に暮らし、  
世界を知る

国際交流・  
留学情報  
P.70

近江楽座  
P.68

ここでなら、  
**何者**にでもなれる

近江楽座の経験が  
行動力の源になる

人間探求学  
P.08

「生きる」を  
考える

食を通じた健康とは？  
人間の尊厳とは？  
対話で見つける生き方の知恵

キャリア教育・  
キャリアサポート  
P.72

将来像は**十人十色**

誰かに相談したい、将来のこと  
豊富なデータに基づいたサポート

大学院  
P.74

私だけの学びを  
**究める**

高度な研究に取り組み、  
未知の世界を切り拓く

enhance **深める**

公共建築百選に選ばれた  
美しい学び舎

キャンパスはどこまでも  
実習調査船「はっさかII」

すべて**自分たち**の手で

地域に開かれた祭  
県大の伝統「湖風祭」

イベント  
紹介  
P.83

地域教育  
プログラム  
P.09

ここが**社会**への入り口

ビジネスの発想と手法を学び  
地域を引っ張るリーダーに

キャンパス  
マップ  
P.76

学びは  
キャンパスを  
越えて

どこまでも広がる  
学びのフィールド

広大なキャンパスは  
常に「本物志向」

master **究める**

環境  
科学部  
P.12

百間は  
**一験**に如かず

多様なフィールドワークで  
環境問題を知る

人間文化  
学部  
P.40

滋賀を知り、**人を知る**

地域に踏み出し  
歴史・文化・生活を学ぶ

ぬくもりある空間で  
充実した学習時間を

クラブ&  
サークル  
P.84

全力で「**好き**」に  
打ち込む

豊かな環境で今だけの青春を

工学部  
P.28

ものづくりの  
**真髄**を学ぶ

技術者として  
社会に貢献する発想を

人間看護  
学部  
P.60

実習を超えた  
**実践**

医療・保健・  
福祉の現場へ  
人との触れ合いが  
自信になる

# Academic Fields

キャンパスから地域、世界へ広がる、人が育つ学びの体系



## 人間学

人間と社会を深く見つめ、現実的な問題を通して「人間」という存在を考える中で、主体的に学ぶ力を育てます。  
必修科目の人間探求学と、「生きる」「考える」「つくる」の3つの科目群からなる多彩な選択必修科目から構成されています。

### ◆ 人間探求学 [必修科目]

大学で学ぶということは、自ら課題を見つけ、そこから新たな考えやモノを創造することです。そのためには、自らの考えをわかりやすく伝え、他者の考えをじっくり理解し、共感し、批判し合う能力が必要となります。これらの能力を1回生前期のうちから身につけていきます。



### ◆ 3つの科目群 [選択必修科目]

#### 生きる

科目群「生きる」では、私たちが動物の一種であるヒトとして、また、複雑な社会の中で暮らしている人間として、健康で幸福に生きていくための知恵を学びます。

講義例

- 自然のしくみB  
～森林と環境と私たち～
- 食と健康  
～食を通じた健康との関わり～
- 生命・人間・倫理  
～人間の尊厳と権利～

#### 考える

科目群「考える」では、空間(環境、地域性など)、時間(歴史、成長など)、構造(自然、人工物など)のような、ものごとを考えるための多様な視点を学びます。

講義例

- 都市・建築を考える  
～川の未来学～
- 人間関係の科学B  
～コミュニケーションを考える～
- 異文化理解A  
～英語圏の異文化理解～

#### つくる

科目群「つくる」では、人間と他の生き物の大きな違いである生産活動と創造活動に着目し、衣食住や道具類など、さまざまな「モノ」と人間の関係を学びます。

講義例

- 農業と環境B  
～微生物と生活～
- 電子社会と人間  
～高度情報化社会の成り立ちと私たちの生活～
- 比較住居論  
～住まいがたえる世界のくらし～

## 地域での学び

### ◆ 地域教育プログラム

地域基礎科目から副専攻、各学科の地域志向専門科目にまたがって構成される、キャンパスを飛び出して地域と連携しながら学び、未来志向の変革力を身につける本学独自のプログラムです。

#### 「地域共生論」(地域基礎科目)

1年次の全学部学生約600人が学部の枠を超えてグループワークを通じ、一緒に学ぶ必修講義。各学部から提供されるテーマをもとに、地域共生の意義を理解し、自ら率先して地域における活動等を実践することの大切さを学ぶとともに、学生がSDGsの視点も交えて考え、他者を理解し、共感と豊かな対話を可能とするコミュニケーション力向上を目指します。



#### 近江楽士(地域学)副専攻

詳しくはP.66

さらに自身の能力を高めたい未来志向の学生を対象に、全学部全学年生が受講可能な副専攻課程。これから社会で求められる「ネットワーク力」や「起業力」を身につけます。所定の単位を修得することで、大学が認定した称号(コミュニティ・ネットワーク/ソーシャル・アントレプレナー)を獲得することができ、就活等でアピールできます。



## 専門の学び

詳しくはP.10

各学部の目的に沿った個性的な教育を実現するために、1年次から専門科目の講義を受講できます。また、少人数教育により教員と学生の日常的な触れ合いを大切にしています。



## 実践的な学び

### ◆ 実験・実習 フィールドワーク

全学部において、教室で学んだ知識を実際に体験し身につける学びの場を豊富に展開。理論を確かめ、技術を磨き、地域や自然の現場で学ぶことで、知識と実践力をしっかりと結びつけます。



環境科学部  
環境フィールドワーク

実際に地域環境問題が起きているフィールドに足を運んで、調査・解析とプレゼンテーションに必要な能力を身につけます。



工学部  
実験・実習

技術者としての基本的技能を体験的に学びます。例えば、身近な工業製品の分解と再組立てを通じて、ものづくりの基本を学びます。



人間文化学部  
環境琵琶湖文化論実習

1回生を対象とした、滋賀の歴史や文化、生活を学ぶ実習で、テーマ別に班を編成し、調査から報告書の作成手法までを学びます。



人間看護学部  
臨地実習

医療・保健・福祉の現場での実習を通して看護援助の基礎的な実践能力を身につけ、人との出会いやふれあいを通じて豊かな人間性を育みます。

## 世界での学び

詳しくはP.70

### ◆ 海外留学・海外研修

国際性を磨くには、実際に海外に出かけ、そこで学び、生活して、文化の違いを肌で実感することが最も効果的です。



## 未来への学び

詳しくはP.72

### ◆ キャリア教育・キャリアサポート

学生の個性や希望にそった就職の実現をめざし、各学科・専攻の就職指導担当教員と事務局の学生・就職支援課が連携をとりながら、就職情報の提供や各種相談に応じています。

